

立花生徒会新聞

Lantana 通信

選挙について

12月11日に生徒会選挙が行われます。この選挙に立候補する人はどのような気持ちを持って立候補しますか？様々な気持ちを持って立候補することをお決意したのではないのでしょうか。

これまで生徒会執行部は朝のあいさつ運動をはじめ、生徒会新聞の発行や専門委員会の進行など学校の代表として色々な活動に携わってきました。その活動を受け継ぎ、より良い学校をつくるために1票を大切にして全校生徒が真剣に選挙を行ってほしいと思います。

公平な選挙を行うために、立候補者の好き嫌いで投票したり、知り合いだから投票する。などのことはしないようにしてください。選挙運動で頑張っている姿を見たり、演説の内容を聞いたたりして、この人に頑張ってもらいたい！と思った人に1票を入れてほしいと思います。

立候補したいと思った人がいるクラスは立候補者を支え、応援してあげてください。「頑張れ！」の一言でも立候補の自信につながるはずです。また朝の選挙活動や校内に掲示するポスターの作成もクラスで協力

して行うことにより、その頑張りや周りの人に伝わると思います。

10月30日に第1回専門委員会が行われ、委員会や係の任事が、前期から後期へ移行しました。前期のみなさんは、お疲れさまでした。1学期は行事が多く仕事もたくさんあって大変だったと思いますが、みなさんのおかげで成功させることができましたと思います。ありがとうございました。また後期の方はまだ慣れていないことが多く、困っていることもありますが、みなさんが手助けをしてあげてください。後期での仕事も、委員会や係の仕事で学んだことを活かして頑張ってください。

先月の18日に文化発表会が行われました。前日までに多くの先生方や生徒が夜遅くまで舞台準備に協力して下さりました。当日は、全校生徒で支え合い、協力し合ったおかげで、立花中学校全体でひとつのものを作り上げることができました。ご協力ありがとうございました。

また例年に比べて数多くのプログラムがあり、充実した一日を過ごすことができました。始めのスピーチでは、全員が自分の思いや考えをしっかりと伝えていくレベルの高いスピーチだと思えました。メインの合唱コンクールでは徳富期間中に各クラスが目標を高く

ランタナの花言葉
協力
立花中学校(全員で協力して良い学校を作りましょう)

第11号 平成25年
11月15日
尼崎市立立花中学校
生徒会執行部 発行

後期委員会

後期は新しい学期を迎えるまでの、まとめの時期です。行事は少ないですが、クラスをまとめていくための仕事や活動がたくさんあります。例えば11月5日から8日まで行われたノーチヤイム着席週間では、授業前に時間の余裕ができて、その分授業を早く始めることができました。勉強する姿勢やりと責任を持ち、最後までやりとげることができると思っています。

また例年に比べて数多くのプログラムがあり、充実した一日を過ごすことができました。始めのスピーチでは、全員が自分の思いや考えをしっかりと伝えていくレベルの高いスピーチだと思えました。メインの合唱コンクールでは徳富期間中に各クラスが目標を高く

文化発表会を終えて

また、どの活動、仕事にもみなさんに協力をお願いすることがあると思います。その活動にクラス全体で協力してあげてください。そしてこれから生徒会執行部も12月に行われる選挙で、現生徒会執行部から新生徒会執行部に世代交代します。慣れない活動や専門委員会ではつまってしまったり、みなさんに迷惑をかけてしまうこともあると思いますが、これまでどお支えて進めてくれませんか。これは、クラスや学年でひとつになることができていくと思います。

最後の行事だと思えます。このようにあまり大きな行事はありませんが、こういった活動はどれも大事なものだと思います。各自がしっかりと責任を持ち、最後までやりとげることができると思っています。

合唱はすごいといってくれました。また最後の文化発表会を迎える3年生は合同音楽会出場を夢見て何倍もの努力と練習を積み重ねました。本番は、全クラスが今までの練習の成果を全て出し切ることができ、素晴らしい合唱になりました。結果発表の時には優勝して喜んでる生徒、優勝を逃して涙を流していた生徒もいました。また、当日お越しくださった保護者の方々も、立花中学校の

どの有志ステージや生徒会執行部とクラスDJによるエイサー、2年生による英語劇がありました。どれも夏休みの初めころから練習を積み重ねて、見ていた人達に笑いや感動をあたえられたものになったと思います。最後は吹奏楽部による

10月に行われた「赤い羽根共同募金」の募金活動に、ご協力して下さり、ありがとうございました。みなさんが募金して下さった金額の合計は80,000円でした。この5日間という短い期間の中でこんなに募金が集まるのは、すごいことだと思います。これは、みなさんが少しでも募金に興味を持って下さった協力のおかげです。5日間、毎朝笑顔で募金箱に封筒を入れて下さるみなさんの姿を見て「やっぴよやった！」と思えました。みなさんの気持ちのこもった募金はたくさんの方のために必ず役に立つことだと思います。

とところで、みなさんほどのような考えを持って、この赤い羽根共同募金に参加して下さったか？きっと、人それぞれで思うことがあろうと思います。中にはあまり深く考えたことがない人もいるかもしれませんが、募金とは離れていても人助けができる素晴らしいものです。自分の寄付したものが遠くの人々の手助けになる。こういった活動はどれもいいことだと思います。たとえば、一人の力が小さくても、たくさんの方が集まればとても大きな力になります。募金でいうと、一人の寄付金が百円だとし

最後に、来年もこの立花中学校で赤い羽根共同募金を実施します。今年と同じように、たくさんの方が参加して、遠くの人々の手助けができるように一緒に協力していただけたらうれしいです。

文化発表会が終わりました。次は期末テストがあります。気を引き締めてしっかり勉強しましょう。(今井・池本・穂森・榎本)

赤い羽根共同募金

編集後記